

傷あとがキレイに治る！

ドレッシング材

注目の

創傷被覆材を用いた

難治性皮膚潰瘍・褥瘡の治療



企画編集 前川武雄 (自治医科大学皮膚科学講座講師)

p.7

1

創傷治療におけるTIMEの概念

門野岳史

p.13

2

各ドレッシング材の特性と使い分け

太田信子

p.21

3

創傷の深さに応じたドレッシング材の使い方 石井貴之・佐々木美穂子

p.28

4

滲出液の量に応じたドレッシング材の使い方

伊藤宗成

p.35

5

感染制御を目的としたドレッシング材の使い方

伏間江貴之

p.43

6

壊死組織や不良肉芽に対するドレッシング材の使い方

田村政昭

p.50

7

疼痛の強い創傷に対するドレッシング材の使い方

藤澤章弘

p.57

8

肛門周囲や関節部位に対するドレッシング材の使い方

小川洋子

p.66

9

脆弱な皮膚に対するドレッシング材の使い方

新谷洋一

p.73

10

褥瘡における外用剤とドレッシング材の使い分け

藤田英樹

p.79

11

局所陰圧閉鎖療法の理論と実際

高橋和宏

p.86

12

ドレッシング材による創傷治療のまとめ

前川武雄